

令和 2年度

事務事業評価表 (令和元年度 の実績評価)

記入年月日
令和 2 年 4 月 1 日

事務事業名		真壁特産品直売所管理運営事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	040103000855
						単独/補助	単独	所属課	050101
政策体系	総合計画の施策名	0401 農林業の振興						課長名	農林課
	政策名	04 活力ある産業のまちづくり						グループ	農政G
	施策名	01 農林業の振興						担当者名	
	手段名	03 ③農業の魅力発信							
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	06	01	02	02	00	農業総務事業		
法令根拠						桜川市真壁特産品直売所の設置及び管理に関する条例			
【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)									

手 段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
	<p>・平成18年9月から、指定管理者 (真壁直売組合) と協定を結び維持管理を委託している。この組合は、真壁町特産品直売所 (つくし亭) を直売基地として、地域の所得向上、活性化を目的とし、直売所労働者の生きかいの場を提供し、市内外の利用者とのふれあいを図っている。</p>		<p>【担当者が行う業務の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度協定の締結 ・5年間の協定期間であるため、協定期間更新の手続き事務 ・施設の修繕 (10万円以上) 	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
			12.00	12.00	12.00	12.00	12.00
<ul style="list-style-type: none"> ・管理運営についての協議 ・事業実績報告の受理 ・5年間の協定期間であるため、協定期間更新の手続き事務 (H28.4.1~R33.3.31) 	管理運営に関する協議	h	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00
	(4月下旬総会まで暫定数値)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
			41.00	39.00	48.00	48.00	48.00
			組合員数	人	41.00	39.00	48.00
<ul style="list-style-type: none"> ・真壁町特産品直売所 	(11)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
			3,858.00	3,346.00	4,500.00	4,500.00	4,500.00
			利用客数	人	3,858.00	3,346.00	4,500.00
<ul style="list-style-type: none"> ・直売所利用客の増加 	(11)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	期間限定総投入量	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0
		その他	千円	0	0	0
		一般財源	千円	0	33,000	0
	事業費計 (A)	千円	0	33,000	0	
	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人		

事業費の内訳	01年度事業費 実績 (千円)		02年度事業費 予算 (千円)	
	11 需用費	33,000		
		合計	33,000	合計

事務事業名	真壁特産品直売所管理運営事業	事務事業No.	40103000855	所属課	農林課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
<ul style="list-style-type: none"> 産地の特色を活用した地域農業発展と、農業活性化推進を図ることを目的として始められた。現在は、平成18年度より指定管理者制度を導入し、管理の効率化及び経費の削減となった。 					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
<ul style="list-style-type: none"> 建物及び設備が老朽化しており、修繕してほしいという要望があがっている。 					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <ul style="list-style-type: none"> 地域の農産物や加工品を販売することは、地域特産物の振興となるため結びつく。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <ul style="list-style-type: none"> 特産物の振興に関わるため、また市の財産であるため妥当である。
有効性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない <ul style="list-style-type: none"> 販売金額については、現状維持が精一杯であるため向上するのは難しい。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者を廃止した場合、維持管理を市で行わなければならない、経費が増加する。また、地産地消の推進としても影響が出る恐れがある。
効率性	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む))
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <ul style="list-style-type: none"> 類似事業がない。
公平性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <ul style="list-style-type: none"> 最低限の人件費のみのため削減余地はない。
⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)	
<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者制度に基づき実施しているため公平である。 	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	・管理運営について協議し、総会に出席した。施設の維持のためには、売上金額を維持していく必要がある。 ・令和元年度は、つくし亭のガラスが何者かに割られ、鍵も盗まれる事件が発生した。今後このような事件を未然に防ぐためにも、つくし亭の定期的な見回りやセキュリティシステムの搭載が必要である。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上維持低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上維持低下	コスト			削減	維持	増加				○	×			×	×	×
成果	向上維持低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○	×																	
		×	×	×																	
		(6) 事務事業優先度評価結果																			
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑧																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>